

会員代表ごあいさつ

宮崎県副知事の永山でございます。本来であれば知事がごあいさつ申し上げるところですが、公務により出席が叶いませんため、私が代読させていただきます。

公益社団法人全国公営住宅火災共済機構の創立70周年記念フォーラムの開催、誠におめでとうございます。

貴機構におかれましては、公営住宅等の火災による損害に対する相互救済事業等の実施により、国民の貴重な財産である公営住宅の速やかな復興と住宅の施設改善を図ることを目標として昭和25年に創立されて以来、我が国の住宅行政の推進に貢献してこられました。そのご努力に対し、深く敬意を表する次第であります。

申すまでもなく住宅は、衣、食とともに生活の基本であり、その整備充実は、国民生活の安定のために不可欠であります。

とりわけ公営住宅は、終戦直後の戦災による深刻な住宅不足の時期に、その解消を目指して創設されて以来、今日まで大きな役割を果たしてまいりました。

また、近年においては、本格的な人口減少・少子高齢化が到来する中で、気候変動の影響と考えられる激甚化した自然災害が頻発しております。

住宅セーフティネットを支える相互扶助制度である貴機構の共済事業は、その対策において極めて重要な役割を果たされてきたところであります、今後、貴機構に寄せられる期待はますます大きくなるものと考えております。

今後、貴機構が70年の長きにわたり培われてきた創意と業績を礎として、会員各位のご協力の下に、「安心・安全」な公営住宅を共に支えていく。その決意を共有する場として、そして貴機構や会員相互間の貴重な交流の場として、本フォーラムが盛会のうちに開催されることを願ってやみません。

終わりに、貴機構の今後ますますのご発展と、会員各位のご健勝を心より祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

令和3年11月10日

宮崎県知事 河野 俊嗣 「代読」